

カンキツ黒点病(後期感染)に対する薬剤の散布間隔

近年の9月以降の天候不順により後期感染による黒点病(後期黒点)が発生し、品質低下が問題となっている。そこで後期の効果的な薬剤の散布間隔について検討した。

温州みかん



紅まどんな



せとか



甘平



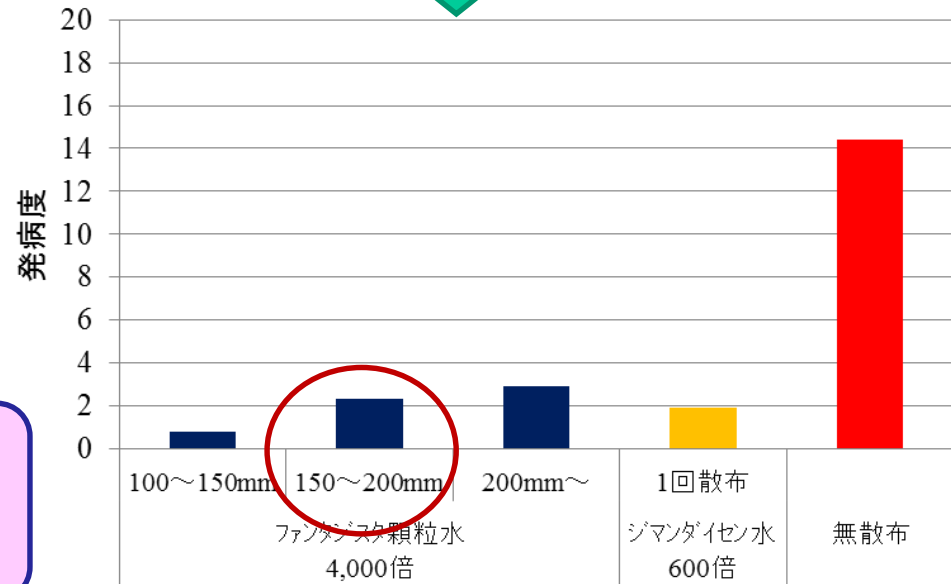
表1 各試験区の散布実績(宮川早生)

試験区(目安)	薬剤散布月日と積算降水量					11/16
	8/5	9/9	9/21	10/1		
100~150mm	M	Fa	Fa	Fa		発病調査
50~200mm	M	Fa	Fa	Fa	Fa	
200mm以上	M	Fa	Fa	Fa		
(対照)	M	M				
ジマンダイセン水						

積算降水量: 129mm, 155.5mm, 262mm, 339.5mm
 散布間隔: 91mm, 129mm, 133mm, 77.5mm, 155.5mm, 136mm, 48mm, 77.5mm

1)M:ジマンダイセン水和剤 Fa:ファンタジスタ顆粒水和剤

結果



宮川早生での試験であるが、積算降水量150mm程度の目安でファンタジスタ顆粒水和剤を散布することでジマンダイセン水と同程度に黒点病の発生が抑えられると考えられた。